

## Summary

This report includes the descriptions of one species of marine Cyanophyceae and four species of marine Rhodophyceae from the northeastern Honshu, Japan. They are as follows;

*Rivularia nitida* AG.

Hab. Hukaura (Aomori Pref.).

*Nemastoma lancifolia* OKAM.

Hab. Wakinosawa (Iwate Pref.).

The developmental process of the cystocarp of the present species was traced. It agrees with "Platoma-type" undoubtedly.

*Binghamiella californica* SETCH. et DAWSON

Hab. Shiriyazaki (Aomori Pref.).

*Callithamnion furcellariae* J. AG.

Hab. Oma-Bentenjima (Aomori Pref.).

New to Japan.

*Acrosorium polyneurum* OKAM.

Hab. Oma-Bentenjima, Shimofuro, Shiriyazaki, Same (Aomori Pref.); Yagi, Nakano, Osanai, Hudai, Wakinosawa (Iwate Pref.); Matsushima Bay (Miyagi Pref.).

~~~~~

### 碩学と新進、2人の藻類学者の死去

Kathleen M. DREW 女史が永眠された。過ぐる9月14日のことである。故女史は1901年11月6日生れであるから満55才になる。働さざかりに突然の逝去が惜しまれてならぬ。

故女史はマンチェスター大学教授 Wright BAKER 博士の夫人であり、海藻を主とした細胞学的研究や生活史に関する数多くの研究は余りにも有名である。伝え聞く所によれば、本年春から夏にかけての北欧諸国への旅行後、著書執筆中突然に発病され、数日後忽然として逝去された由である。英国藻類学会の会長の重責を果たし国際学会のシンポジウムの議長もつとめられた由であるから、その人間的の幅の広さが感じられる。*Spermothamnion* や *Rhodochorton* の核学的研究の女性らしいデリカシーに満ちた論文や晩年の生活史に関する深い考えが想起される。痛惜極りない次第です。

次には旧聞に属すかも知れませんが、奇しくも DREW 女史の夫君からの手紙の到着と同日に、独逸 Gießen 市の der Justus Liebig 大学の植物学教室主任教授 D. von DENFFER 博士から、F. BÜHNEMANN 博士の訃報がもたらされた。BÜHNEMANN 氏は昨年1956年の2月23日に物故された由である。逝去後も論文を諸雑誌上に見ていたもので、同博士が既に故人であつたことを全々知らなかつた。同博士が学位を取得されたのは1954年であり、故人は DENFFER 教授の下で専ら淡水産緑藻サヤミドロ属を材料に生殖細胞形成のリズム其他の生態学的に詳しい研究を続け、学位も勿論それに関したものである。伝え聞けば、全く予期に反し、突然に死去された由である。新進気鋭の英才を失つたことは惜しみても余りがある。

新進気鋭の士と碩学の権威との2人の藻類学者の死を悼み謹んで報告します。

(神戸大学理学部生物学教室 広瀬弘幸)